

## 申2号「盛岡支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について(その3) (盛岡営業統括センター、八戸営業統括センター)」に関する申し入れの団体交渉について」に関する申し入れ 交渉実施! ①

1. 本施策を実施する目的と、盛岡営業統括センター及び八戸営業統括センターを新設するに至った経緯を明らかにすること。また、本施策によってどのようにモチベーションが向上するのか明らかにすること。

回答

社会の急速な変化を踏まえ、グループ経営ビジョン「変革 2027」の目指す「鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換」に向け、システムを超えて新たな価値の創造を一層推進していく観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させていくものである。実施箇所については、業務実態や規模、立地条件等を総合的に勘案し、決定したものである。これまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方を進め、成長意欲・チャレンジを具現化できるフレキシブルな組織(職場)で一人ひとりの活躍フィールドを広げていく考えである。

【主な議論内容】・会社 ★組合

【盛岡営業統括センター】

- ・ 駅の規模等の違いがあり、小規模な駅や大規模な駅双方で出改札等を行うことが出来るようになり、技術力の向上等が期待できる。
- ・ 盛岡駅やいわて沼宮内駅、二戸駅それぞれの特情があり、様々なお客さま層に合わせて切符を発売することで業務改善力が高まっていく。

【八戸営業統括センター】

- ・ 八戸駅と七戸十和田駅の新幹線列車扱いの業務経験を通じた知識、技能レベルの向上や異常時対応力の向上がメリットとして考えている。

【共通】

- ・ 今までは一つの駅で行っていたものが融合することで協力し合いながら業務を行うことが出来るということはメリットである。

★モチベーション向上が最大の目的とあるが、なぜ営業統括センターを設置するのか全社員共通の認識に立たなければならない。施策を実施するだけではモチベーションは上がらない。コミュニケーションを図って職場全体で施策を担うことが重要だ。

**施策の目的、社員のモチベーション向上をどの様に創りだしていくのか会社の考えを改めて確認!**

2. 盛岡営業統括センター及び八戸営業統括センターにおける「融合」「兼務」「連携」の考え方を明らかにすること。

回答

業務の融合は、これまでの作業ダイヤに基づく働き方だけではなく、社員一人ひとりが企画業務を含めた様々な業務を柔軟に担う仕組みを構築していくものである。また、兼務及び連携は、従来の業務に加え、課題解決・価値創造等に組み込むことを目的としている。

【主な確認事項】

- ・ 同一担務の融合のほか、将来的には営業と輸送の融合や兼務等も考えている。
- ・ 運輸区からの兼務は検討しているが、営業統括センターから運輸区への兼務は現時点で考えはない。
- ・ 兼務する業務上の必要性は、駅社員の目線と乗務員の目線でお互いの考えを共有することで設備改善や、サービス品質の向上、安全面においても価値創造に繋がると考えている。
- ・ 「兼務」はそれぞれの箇所の指揮命令システムで業務をすることが出来るが、「連携」は自職場の指揮命令システムで他の職場と一緒に作業をするという位置づけになる違いがある。
- ・ 現時点では、運輸区全社員に兼務発令を行うことは考えていない。必要な人数に兼務発令を行う。
- ・ 兼務する当該社員には、これまでも管理者から意識付けをしているが、今後も継続して目的等を伝えていく。
- ・ 将来的には乗務員が出改札を担うことで知識拡大というメリットに繋げることが出来ると考えているが、最初は駅同士の融合を優先する。
- ・ 10月1日時点で駅の作業ダイヤに入る準備はしていない。

**「融合」「兼務」「連携」の考え方を改めて確認!**

## 申2号「盛岡支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について(その3) (盛岡営業統括センター、八戸営業統括センター)」に関する申し入れ の団体交渉について」に関する申し入れ 交渉実施! ②

3. 盛岡営業統括センター及び八戸営業統括センター新設に伴う業務に必要な教育内容、スケジュールを明らかにすること。また、業務に必要な要員は確保すること。

**回答** 必要な教育を実施していく。また、業務に必要な要員は確保していく考えである。

### 【主な確認事項】

#### 【盛岡営業統括センター】

- 9月から二戸駅副長がいわて沼宮内駅当務の見習いを行っている。9月中に4回の見習いを終える予定。以前いわて沼宮内駅で勤務経験のある社員は、4回の見習いで1本になるが、今後の社員については回数は増える。
- いわて沼宮内駅の当務が二戸駅や盛岡駅の見習いを行うことは、3駅の状況を踏まえながら検討していく。
- 出改札については二戸駅からいわて沼宮内駅の見習いは10月から行っていきたい。盛岡駅からいわて沼宮内駅の助勤は無くなるが、融合として継続して行って頂く。
- 盛岡駅の在来輸送は将来的には融合を図っていきたいが、見習い期間に時間を要するため状況を踏まえて判断していくことになる。
- 教育期間の目安として営業は1~2ヶ月、輸送は輸送本部がある駅に関しては3~5ヶ月という考え方を過去に議論しているが、あくまでも当該社員のそれまでの経験を踏まえながらの判断になるものの、現在ある形と同様の教育期間になると考えている。
- 盛岡駅作業ダイヤの変更は、社員の声によって変更してきているが、今後も社員の声やお客さまのご利用状況を見ながら必要に応じて検討することになる。引き続き現場の実態把握を行っていく。

#### 【八戸営業統括センター】

- 現在、八戸駅では当務が営業と輸送の見習いを行っており、八戸駅から七戸十和田駅、七戸十和田駅から八戸駅の見習いも行っている。回数は4回程度と考えている。
- 出改札の社員の教育スケジュールは、現在、双方で見習いを行っている。
- 営業については、6回程度を目安と考えている。
- 輸送については、八戸駅と七戸十和田駅の列車扱い業務であれば2~3回程度と考えている。
- 七戸十和田駅でのポイント注油は、当務が行っており出札担当は同行している。当務については作業ダイヤに入り教育を行っていく。出札担当へも必要な教育を行っていく。
- 作業ダイヤの始終業時刻の変更は無いが、七戸十和田駅におけるポイント注油の時間帯に「環境整備」の記載を考えている。ポイント注油は月2回の作業であること、コストダウンの観点からバックヤードの清掃委託を止め、社員にトイレや浴槽の清掃を行って頂く。ポイント注油が無い時は清掃を行って頂く変更となる。

#### 【共通】

- 北上営業統括センターで、融合した駅に月に1、2回しか行けていない現実については、社員規模が違っているとバランスが難しいので月に1回しか入らない場合があり得るが、思い出せるような形を取る等の工夫は必要であると考えている。全員で模索しながら良い体制を作り上げていきたい。

**融合教育や、教育後にも定期的に担務を担える体制をしっかりと作っていくべきであることを強く主張!**

4. 盛岡営業統括センター及び八戸営業統括センター新設に伴う通勤の考え方を明らかにすること。

**回答** 就業規則等に則り取り扱うこととなる。

### 【主な確認事項】

- 融合した駅に月に1、2回しか行けていない現実で、定期券ではなく、都度、切符を購入して行った方が良いという声があることは認識している。制度として規則、規定等に則って実施していかなければならないので、声は認識しているが、運用としては規定に則り取り扱っていくことになる。
- 税金等が高くなるという事はあるが、会社として定めて通勤手当を支払っている。1回だけの場合にどうなのかという主張は受け止めるが、現状は規定内の運用となってくる。
- 社員から要望があるというのは我々も認識はしている。機会を見て、本社等へ話をする事は出来る。

**通勤エリア拡大に伴う通勤定期代や税金等の負担が増える現実を主張!**

## 申2号「盛岡支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について(その3) (盛岡営業統括センター、八戸営業統括センター)」に関する申し入れ の団体交渉について」に関する申し入れ 交渉実施! ③

5. 働き方のイメージを日及び時間単位で明らかにすること。また勤務作成時の指定方法を明らかにし、前泊を前提としないこと。

**回答** これまでの作業ダイヤに基づく働き方だけではなく、社員一人ひとりが企画業務を含めた様々な業務を柔軟に担うことになる。また、勤務指定については、就業規則等に則り取り扱うこととなる。

### 【主な確認事項】

- ・勤務表については事業所として各営業統括センターとして発表する。
- ・作業ダイヤは、列車ダイヤに左右される部分もあるが、効率的な面も含めて検討をしてきた。居住地によっては前泊になる場合はあり得る。
- ・前泊者の部屋の確保については通勤者の通勤事情を加味したうえで勤務操配するのが要素の1つになる。

**居住地によっては前泊が発生する可能性はあるものの、前泊者の部屋はしっかり確保していく考え方を確認。**

6. 個人ロッカーの設置箇所を明らかにし、個人ロッカーがない箇所へは共用ロッカーを整備すること。

**回答** 必要な整備を行っていく。

### 【主な確認事項】

#### 【盛岡営業統括センター】

- ・盛岡駅に個人ロッカーを設置する。社員数は3駅合わせて110名程度になる。社員の数は準備する。共用ロッカーはいわて沼宮内駅に9個、二戸駅に13個程度設置予定。
- ・二戸駅の方が盛岡駅の在来輸送に行く際には、ヘルメットや安全帯を置くスペースは充分あるので、わざわざ持ち歩く必要は無いと考えている。

#### 【八戸営業統括センター】

- ・個人ロッカーは八戸駅に設置する。社員数は八戸駅35名程度、七戸十和田駅10名程度いるので、概ね50個程度準備していく。七戸十和田駅の共用ロッカーは16個準備する予定。

#### 【共通】

- ・制服を持ち運ぶことについて、会社として現時点では運用に関して課題があるとは考えていない。
- ・ヘルメット等の必要な安全保護具は貸与になる。共用スペースに置いておくことが可能だと考えている。

**制服等を持ち運ぶ事への問題意識を改めて主張!**

7. 七戸十和田駅の寝具のシーツを八戸駅同様一体型シーツとすること。

**回答** 現時点では、現行どおりとする。

### 【主な確認事項】

- ・現在の七戸十和田駅は、一体型シーツをクリーニングするよりも安い値段でやっていただいているので、現行は変更せずそのまま継続していくこととする。
- ・グループ会社である東日本リネンが一体型シーツを持っている。東日本リネンと契約した場合には一体型シーツが常備されることになる。七戸十和田駅は駅と地元業者が個別に契約しているので、それが非常に安い価格となっている。コストダウンの観点から見ても変更するメリットが無い。
- ・水沢江刺駅と新花巻駅も一体型になっていないが、同様に地元業者と契約しており、グループ会社と契約する事で高くなるので現行どおりとなっている。
- ・今後仮に原油価格の高騰などにより、単価が高くなった場合やそもそも地元業者の価格変動等で見直すことはあり得る。現時点で安いのでそのまま契約するべきという考えはとなる。

**駅によっての違いや今後の変更する可能性等を確認。**

## 申2号「盛岡支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について(その3) (盛岡営業統括センター、八戸営業統括センター)」に関する申し入れ の団体交渉について」に関する申し入れ 交渉実施! ④

### 8. 防犯上の観点から女性のみで泊まり勤務は行わせないこと。

回答 就業規則等に則り取り扱うこととなる。

#### 【主な議論内容】・会社 ★組合

- ・実際に、新花巻駅や七戸十和田駅では女性当務がいるので、出札担当が女性になった場合には女性のみで泊まったという実績はある。
- ・何かあった際の呼び出しや、警備会社にすぐに連絡できる体制はあるので、女性社員の泊りだけをもって問題意識というのはいない。
- ・防犯に対する問題意識はあるので必要な対策を取っている。
- ★必要な対策を取っているという事は認識しているが、鉄道係員に対する暴力行為の件数等も年々増加している現実もある。盛岡支社でも他人事ではないと思っている。男性がいるから犯罪が起きないという事では無いが、歯止めになる部分や、女性だけで泊まっているという事が認識されることで、本来発生し得ない犯罪行為や暴力行為が発生する事もあり得る。配慮などはあって然るべきだ。
- ・女性のみで泊まることに会社としては必要な対策をしたうえで泊まらせていただいているので、現行どおり継続していくということになる。
- ★女性も男性も危険な状態は変わりないと言われていたが、現行では防犯スプレーの貸与は女性社員のみである。防犯上の観点からという意味では、社員全員に貸与するという事も今後検討していただきたい。

**女性社員のみで泊まり勤務をする事への防犯上の問題意識を主張するも認識は一致せず。**

### 9. 施策説明については継続して社員の声を把握し、質問にはしっかり返す体制を構築すること。

回答 今後も必要な対応を行っていく考えである。

#### 【主な議論の内容】・会社 ★組合

- ★社員説明で質問をしてもなかなか返せない管理者がいる。決まっていないものはあるにせよ、質問に答えていただけない事がどこの職場でも発生している。後日回答を頂いたというケースもあることは聞いているが、まだコミュニケーションが取り切れない等の現実もある。会社も認識していただきたい。
- ・現状、社員説明はしっかりと管理者に行なっていただいている。質問に対する回答がまだ決まっていない内容もあり、遅くなっている事はあるかもしれないが、しっかりと返していくことは必要だと考えている。
- ★途中経過も含めて、支社の回答待ちなども社員へ説明をしていただければと思っている。そこは管理者も努力すべき事柄ではないか。支社からもフォローを含めて管理者へ伝えていただきたい。

**社員の質問にはしっかり答えていく体制を改めて要請!**

### 10. 施策に伴う面談等を行い、本人希望を把握し考慮すること。

回答 盛岡営業統括センター及び八戸営業統括センター発足に伴う面談を行う考えはないが、引き続き必要なコミュニケーションを図っていく。

#### 【主な議論内容】・会社 ★組合

- ・発足に伴う面談については行う考えはないが、今後もコミュニケーションをとっていくことに変わりはない。
- ★本人希望を把握するという手段も面談やコミュニケーションだという事を様々な施策でも議論してきた。是非、今営業統括センター発足に向けて、面談とはならないまでも社員としっかりコミュニケーションをとっていくべきである。
- ・丁寧な面談等については、これまでもしっかりと行ってきている認識である。前提としてしっかりと社員と向き合う事が必要だと思っているので今後も継続していきたい。
- ・社員に不安があれば管理者へ相談をしていただきたい。そこは社員の皆さんへお願いしたい。管理者も社員の顔をしっかりと見る事も必要だと思っている。いつもと様子が違うのであれば声掛け等の必要な事については今までもやってきているが、今後もしっかりやっただくように管理者に伝えていく。

**面談は行わないが、コミュニケーションをしっかり図っていくことを確認。**

**全10項目議論終了! 検証運動を強化し、働きやすい職場環境を労働組合から創りあげていこう!**